

事業番号	09 04 01	事業改善シート（令和3年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	園芸総合対策事業	部局	農政部	課・室	園芸畜産課		
		実施期間	H17 ~	E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp		
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)							
8つの重点目標	労働生産性						
総合的に展開する重点政策	2-1 革新力に富んだ産業の創出・育成			2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進			

1 現状と課題

目指す姿 ・ これまでの取組	【目指す姿】 ・マーケットインの生産を基本に、県内で育成されたオリジナル品種や本県の立地条件を活かした販売力の高い品目・品種の導入、拡大等を進めることにより、競争力の高い園芸産地を実現する。	
	【これまでの取組】 ・生産流通コスト低減や付加価値の高い生産・供給体制の確立に向けた施設整備、新たな技術の現地への普及等に必要な機械等の導入を支援 ・スマート農業技術の効果を生産者が実感できるように、生産者への「お試し導入」を実施	
令和2年度点検結果 (令和元年度実施事業分) ・ 現状分析	課 題	今後の方向性
	消費者ニーズの多様化・複雑化により需要に合わせた計画生産、需要の創出ができる分野への対応とともに、生産段階における労働生産性の向上や省力化のためのスマート農業技術の導入拡大が求められている。	園芸品目の“強み”を伸ばし“稼ぐ力”の一層の強化を図るため、必要な機械の導入支援、技術者研修会等を実施する。また、スマート農業機械の生産者への「お試し導入」を進めていく。

2 令和3年度事業内容

予算のポイント・主な取組(予定)	✓マーケットニーズに応える競争力の高い信州農産物の生産振興 ・りんご早期多収・省力化栽培技術導入、県オリジナル品種等生産拡大に向けた検討会の開催を支援 ・高品質で安定的な野菜産地構築のためのモデルほ場設置、研修会の開催を支援 ・キク類、カーネーション等の需要期安定出荷栽培技術の確立を図るため、検討会の開催を支援	 
	✓園芸作物の産地基幹施設等の整備支援 ・コスト削減や高品質で付加価値の高い作物の生産・供給体制の確立のため、生産施設や集出荷施設等の整備を支援	
	✓スマート園芸機器の「お試し導入」の実施 ・意欲ある農業生産者が最新機器の効果を実感できるように、「お試し導入」を実施 ・県が購入した機器を生産者に貸付け	 

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]						区分(単位:千円)					
No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度末(見込)	R3年度目標値	事業コスト	前年度繰越	R1年度	R2年度	R3年度	
1	生産振興を目的とした研修会開催回数	20回	31回	↑ 25回	↓ 40回		予算額	991,370	904,244	284,750	要求 1,565,307 予算案 1,579,334
2	果樹戦略品目等の栽培面積	2,191ha	2,390ha	↑ 2,455ha	↑ 2,626ha			補正予算	0	0	
3	りんごの高密植・新しい化栽培面積	307ha	358ha	↑ 380ha	↑ 647ha			合計(A)	1,895,614	1,338,254	要求 1,565,307 予算案 1,579,334
4	夏秋期のりんご、はくさい、キャベツの全指定産地出荷量に占める契約割合	48.9%	47.1%	↓ 38.8%	↓ 39.7%		うち一般財源	65,838	58,832	要求 53,618 予算案 53,618	
5							決算額(B)	1,572,252			
							職員数(人)	3.1	3.1	3.1	
成果指標設定理由	1 目指す競争力の高い園芸産地を実現するために開催する研修会の開催回数から設定 2 県内における栽培状況を把握するための指標 ※目標値:第3期食と農業農村振興計画の目標値から算出 3 県内における栽培状況を把握するための指標 ※目標値:第3期食と農業農村振興計画の目標値から算出 4 生産者の経営安定と消費者への安定供給を確保する目標等として設定 ※目標値:野菜の産地強化計画をもとに設定										

予算要求からの主な変更点	園芸産地強化対策整備事業について、財産処分に伴う国庫返還金の経費を増額
--------------	-------------------------------------

事業名	園芸総合対策事業	部局	農政部	課・室	園芸畜産課
-----	----------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R 1年度 当初予算	R 2年度 当初予算	R 3年度 当初予算	
1	信州農業生産力強化対策事業	59,222 千円	55,593 千円	要求 予算案	52,013 52,013 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)		
1	信州農業生産力強化対策事業	補助金	長野県農業の多様な生産力の強化を図るため、新たな技術の現地への普及やマーケットニーズに対応した産地の育成に必要な機械・施設等の導入等を支援		

細事業 No.	細事業名	R 1年度 当初予算	R 2年度 当初予算	R 3年度 当初予算	
2	皆で取り組む園芸振興事業	3,105 千円	3,355 千円	要求 予算案	3,105 3,105 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)		
1	果樹の早期多収・省力栽培の導入推進及び県オリジナル品種の生産振興	補助金	りんご新しい化栽培等早期多収・省力化栽培技術の導入推進を図るための、研修会及びりんご・ぶどう等県オリジナル品種等生産拡大に向けた検討会の開催等を支援。（研修会・検討会の開催13回）		
2	野菜の生産振興及び多品目化等実需者の求める野菜生産の推進	補助金	生産流通コストの低減、品質の向上を図り、地域の特徴を活かした安定的な野菜産地を構築するため、地域モデルほ場の設置、研修会の開催等を支援。（モデルほ場14か所、研修会・現地検討会の開催8回）		
3	新鮮で高品質な花きを安定供給するための生産・流通技術の導入	補助金	キク類、カーネーション等の主要切花の需要期における安定出荷に向けた栽培技術の確立等を図るため、検討会の開催等を支援。（モデルほ場15か所、研修会・検討会の開催19回）		

細事業 No.	細事業名	R 1年度 当初予算	R 2年度 当初予算	R 3年度 当初予算	
3	園芸産地強化対策整備事業	1,119,483 千円	994,289 千円	要求 予算案	1,510,000 1,524,027 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)		
1	園芸作物産地基幹施設等の整備	補助金	生産・流通コストの低減や高品質で付加価値の高い生産・供給体制の確立等を図るため、野菜・果樹・花き集出荷施設の整備等を支援		

細事業 No.	細事業名	R 1年度 当初予算	R 2年度 当初予算	R 3年度 当初予算	
4	スマート園芸体験事業	7,022 千円	267 千円	要求 予算案	189 189 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)		
1	スマート農業技術の導入推進	直接	スマート農業技術の現地普及を加速化させるため、生産者が技術の効果を実感できるよう「お試し導入」を実施(4技術)		